ともに

～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～
小城市立小中一貫校芦刈観瀾校学校便り
2024（令和6）年 6 月 17 日（月）
第８号　文責 ： 校長　藤田　浩巳

芦刈観瀾校
ホームページ

日曜フリー参観　ありがとうございました！

６月９日（日）は、お忙しい中、多数の保護者の皆様にご参観いただき、誠にありがとうございました。子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。

今年度も、全クラスで道徳の授業を公開させていただきました。道徳教育は、子どもたちが社会の一員としての責任や社会性、相手の立場に立って物事を考えることの大切さなどを学ぶ重要な時間です。道徳の授業は、年間計画に沿って週１回のペースで各クラスで実施しておりますが、この日は授業参観ということで、保護者の皆様にも見ていただき、一緒に考えていただきたいたい内容をテーマとしました。子どもたちがどのように考え、意見を交換しているのかを目の当たりにし、家庭での教育にも役立てることができるのではないでしょうか。また、子どもたち自身も、保護者が見守る中での授業参観は特別な体験となり、自分の意見をしっかりともつことの大切さや、他者の意見を尊重することの重要性を改めて感じることができたように思います。

最後に、日曜参観にお越しいただいたすべての保護者の皆さまに心よりお礼申し上げます。皆さまのご理解とご支援があってこそ、学校教育はより豊かなものとなります。これからも、学校と家庭が一体となって子どもたちの成長を支えていけるよう、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度も、学校運営協議会の委員の皆様に授業を参観していただきました。また、情報モラル教育の一環で「KDDIスマホケータイ教室」、１年生保護者対象の給食試食会を実施することができました。

１年１組 道徳
「はしの うえの おおかみ」
身近にいる人たちに親切することの大切さについて考えました。みんな意欲的に発表できました。

２年１組 道徳
「あさも ひるも よるも あそびたい」
わがままをせず、健康や安全に気を付けて、規則正しい生活をするためにはどうすればよいかを考えました。

２年２組 道徳
「あさも ひるも よるも あそびたい」
ゲーム大好きなパンタが、ゲームをするか、宿題をするか悩む気持ちを想像することで、規則正しい生活を送ることの大切さについて考えました。

３年１組 道徳
「二つの声」
教室の花びんを割ってしまった主人公の揺れ動く２つの気持ちを考えることで学びを深めました。

４年１組 道徳
「お母さんのせいきゅう書」
毎日家事をするお母さんが書いた金額０円の請求書を読んだ主人公たかしの気持ちを考えました。

４年２組 道徳
「いっしょになって、わらっちゃだめだ」
いつ自分の身の回りで起きてもおかしくないいじめを自分事ととらえ、自分にできることは何かを考えました。

５年１組 道徳
「お父さんは救急救命士」
父親の働く姿や、仕事に対する思いを考えることで、働くことの意義について考えました。

６年１組 道徳
「言葉の力」
同じ言葉でも、人によってとらえ方・感じ方が違うことを知り、自分の発する言葉に責任をもつことの大切さについて考えました。

６年２組 道徳
「お母さん、お願いね」
母親に甘えていた主人公が、ある出来事をきっかけに自分の生活を見つめ直していく話を通して、自立の大切さについて考えました。

７年１組 道徳
「いのちって何だろう」
作者の問いについて考え、いのちとは何かについて深く考え、全ての人たちの尊い命を守ることの意味について考えました。

８年１組 道徳
「私のせいじゃない」
教材文を通して、身の回りで起きるいじめの問題を他人事ではなく自分事としてとらえることの大切さについて考えを深めました。

９年１組 道徳
「缶コーヒー」
電車の中での出来事を通して、みんなが安心して過ごせる社会の実現に向けて、自分ができることについて考えを深めました。

この日は、学校評議員会・スマホケータイ安全教室が並行して行われていたため、全クラスの道徳科授業の写真が撮れていません。

第２回学校運営協議会

　フリー参観日に合わせて、第２回学校運営協議会を開催しました。協議会前に、委員の皆様に授業参観をしていただき、子どもたちの様子を見ていただきました。協議会では、今年度の教育計画について説明を行い、授業を参観されての感想交流も行い、委員の皆様からは以下のような感想等をいただきました。

〇子どもたちのあいさつがとても素晴らしく、子どもたちから元気をもらった。
〇どの学年の子どもたちも、集中して真剣に授業に臨んでいた。
〇スマホケータイ安全教室の講師の問いかけに、低学年児童が元気よく答えていた。
〇自分の考えや意見をはっきりと言える子どもたちが育っていると感じた。
〇校内や教室環境がしっかりと整えてあった。
〇先日の体育大会は、短い練習期間にも関わらず小学部・中学部とも素晴らしい応援合戦が見られた。
　上級生が下級生をリードする場面が見られ、上級生の活躍に憧れる下級生が育っているように思う。
〇電子黒板とタブレットＰＣを最大限に活用した授業が行われていた。
〇読解力が課題と言われているが、読書の時間をしっかりと保障されていると感じた。
〇子どもたちの仲間意識が高く、共に過ごした時間が子どもを強くしてくれていると感じている。
〇他校でプール掃除に消防団が協力していると聞いた。芦刈観瀾校でもぜひやってみたい。

　これまでの教育活動に対して肯定的なお言葉をいただき、本校職員のモチベーションも高まりました。今後も芦刈の子どもたちのために尽力してまいります。ありがとうございました。

KDDI「スマホケータイ安全教室」で情報モラルを学ぶ

　子どもたちにとって、身近で切実な問題となっているスマホ・ケータイ。今回の講演は、子どもたちが便利なツールであるスマートフォンを正しく、安全に利用するために、どんなことに気を付ける必要があるを学ぶことを目的に実施しました。今回は、KDDIから講師の方をお招きして、保護者と共にお話を聞きました。子どもたちはスマートフォンやタブレットPCの適切な使い方やインターネットの危険性について深く学ぶことができました。
　当日の講演内容については、次号で特集します。

７年浴衣着付け教室

　６月５日（水）、７年生の家庭科授業で「浴衣着付け教室」を行いました。講師は、一級技能士の相浦充子さんをはじめ県内で着付け教室をされている８名の先生方です。まずは浴衣についての基礎知識を学びます。その後は、男女とも自分が気に入った柄の浴衣をセレクト。サポートを受けながら浴衣を身につけました。初めて浴衣を着る生徒も多く、みんな笑顔で記念撮影(^_^)v